

事務事業名		商工振興巡回支援活動補助事業		所属部	産業振興部	所属課	商工観光課					
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	商工観光グループ		課長名	落合 正成				
	施策名	(39)商業の振興		担当者名	武田 堅治		電話番号	0854-40-1054				
	目的:対象	市内の商業事業者	意図	A)売上を伸ばす。B)経営が安定する。		(内線)		2431				
	基本事業名	(119)経営支援の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名				
目的:対象	経営規模が小さい事業者	意図	経営力を高める。		0	1	3	5	0	2	事業名	商工総務管理事業
					0	5	1	0	8	1	事業名	商工振興巡回支援活動事業
											補助金	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	中国横断自動車道尾道松江線の開通に伴って、国道54号の交通量減少が予想される状況にあり、54号沿線の商工業者に対してきめ細かい支援が必要となる。このため、商工会に職員を配置して、市内事業者を訪問し支援を行う。 また、事業者や行政関係者等を対象とした研修会の開催するとともに沿線事業者への聞き取り調査を実施する。 その他、軽トラック市を開催し、地産地消の推進や賑わいづくりも図る。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動) 事業者への巡回訪問 国道54号影響調査 講習会・研修会の開催 軽トラック市の開催 地域振興イベント事業等への支援	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 事業者への巡回訪問 国道54号影響調査 講習会・研修会の開催 軽トラック市の開催 地域振興イベント事業等への支援			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 商業事業者等への指導相談件数(商工会全体)	件	4,179	4,314	5,577	4,400
	イ 講習会・研修会等の開催	回	5	8	10	10
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	市内商業事業者	ア 卸・小売業事業者数(商業統計調査)	事業者	435	484	484	400
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
市内事業者を積極的に訪問して、状況の把握と相談支援を行う	ア 卸・小売業年間販売額(商業統計調査・経済センサス)	百万円	37,431.0	43,151.0	43,151.0	43,000.0	
	イ 軽トラック市開催回数	回	3	4	4	4	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
負担金補助及び交付金 5,000千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	事業費	地方債	千円	3,500	4,700	5,000
		その他	千円			
	一般財源	千円	60	59		
	事業費計(A)	千円	3,560	4,759	5,000	5,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
		延べ業務時間	時間	40	40	40
	人件費計(B)	千円	156	156	157	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,716	4,915	5,157	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
長引く消費活動の低迷に加え、市内外に大型店が出店するなど、商業事業者の経営環境は一層悪化している。全国的にも景気回復の兆しが見られず先行き不透明感が強い状況となってきている。	年々雲南市商工会会員は減少傾向にあり、地域商業の衰退が懸念されるため、平成24年度から商工会に事業者支援のため、巡回支援を行う職員を配置して、状況の把握と相談支援、松江道開通による影響調査を実施。	雲南市商工会では、合併以来職員が減少しているため、支援員による巡回訪問等の活動に期待されている。

事務事業名	商工振興巡回支援活動補助事業	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	松江自動車道が今年3月30日に全線が開通し、その影響が出始めている。市内事業者の経営状況の把握と支援策など期待されている。関係者との連絡会などにより対策につなげるよう検討する。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	雲南市商工会の会員数は、平成17年度に1,709件だったものが、平成24年9月現在では1,268件になっている。その間、新規加入156件、脱退597件となっており、差し引きで441件の減である。地域商業者の支援が急がれるため、訪問相談や影響調査など、時間と労力が必要であり、廃止による影響は大きい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	商工業進行補助金
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる			
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	商工会への基幹補助金である「商工業振興補助金」がある。今後の事業展開の中で検討する。	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	自主財源確保が困難な団体であるため、補助金が削減されるとそのまま商工会事業の縮小につながり商業振興の面からは、かなり成果が下がると思われる。補助金削減は厳しいと思われる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	補助金交付一連事務は、決まった様式・手順で行っているが、19年度より雲南市商工会となり、6商工会であったのが1商工会となるため、事務量的にスケールメリットが生じた。ただし、19年度以降は削減の余地がないと思われる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	商業振興の中心的存在である商工会への補助であるため、受益者は商業事業者全体となり、公平である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	商業振興の中心的存在である商工会への補助金であり、市の商業振興を推進していく上で重要な事務事業である。	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>準公共的で自主財源確保が困難な団体であるため、補助金が削減されるとそのまま商工会事業の縮小につながり、商業振興の面からは、かなり成果が下がると思われる。</p> <p>松江自動車道が全線開通し、2年後には尾道道も全線開通予定になっており、この開通に向けた商工振興に向けた取り組みが必要である。</p> <p>商工会活動がより具体的に計画的に進められ、市内商業事業者の経営環境が改善され、成果を向上させることができる。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		